

「ヒトゲノム研究倫理を考える会」開催案内

【プログラム】

第一部（専門家向けセミナー）

13:00～13:10		開会の挨拶
13:10～13:40	講演 1	「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等の現状」 杉江 達也（文部科学省研究振興局 ライフサイエンス課）
13:40～14:10	講演 2	「メタゲノム研究の技術的進展と情報の取扱いについて」 黒川 顕（国立遺伝学研究所）
14:10～14:30		質疑応答

14:30～15:00 休憩

14:40～15:00 第二部からの参加者受付

第二部「ゲノム社会の現在、そして未来 —ゲノムデータをどう活かすか」

（市民公開シンポジウム）

15:00～15:10		開会の挨拶 加藤 和人（大阪大学大学院 医学系研究科）
15:10～15:40	講演 1	「ゲノム情報と遺伝統計学 —ゲノム情報をどうやって解釈するか—」 岡田 随象（大阪大学大学院 医学系研究科）
15:40～16:10	講演 2	「遺伝情報に基づく差別とは何か？ —遺伝子格差社会が到来するののか？—」 瀬戸山 晃一（京都府立医科大学大学院 医学研究科）
16:10～16:25	休憩	
16:25～17:25	パネルディスカッション	指定発言：武藤 香織（東京大学 医科学研究所） パネリスト：岡田 随象、瀬戸山 晃一、黒川 顕、杉江 達也 司会：吉澤 剛（大阪大学大学院 医学系研究科）
17:25～17:30		閉会の挨拶

【主催】文部科学省科学研究費新学術領域研究「先進ゲノム支援」、ゲノム科学と社会ユニット